
平成 2 8 年度第 3 回 日進市地域公共交通会議 資料

【報告事項】

- | | |
|-----------------------------|-------|
| (1) 平成 2 8 年度上半期の運行実績について | … P 1 |
| (2) 交通結節点における待合環境の整備について | … P 3 |
| (3) 平成 2 7 年度歳入歳出決算について | … P 4 |

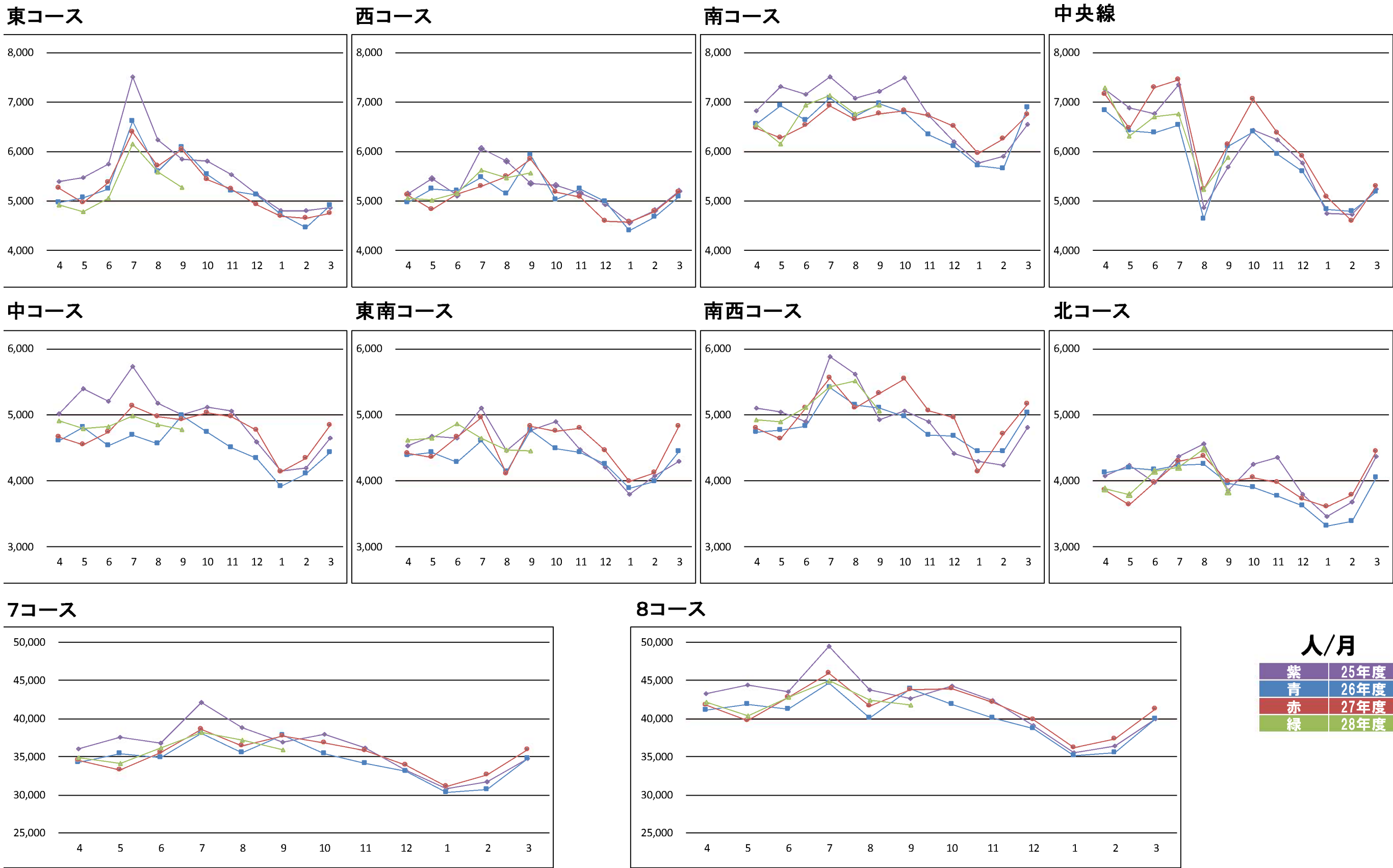
【議題】

- | | |
|------------------------------------|--------|
| (1) 年末特別運行について | … P 5 |
| (2) 日進市地域公共交通網形成計画の修正について | … P 6 |
| (3) くるりんばす再編に伴う
道路運送法上の協議について | … P 11 |

平成 2 8 年 1 0 月 2 4 日

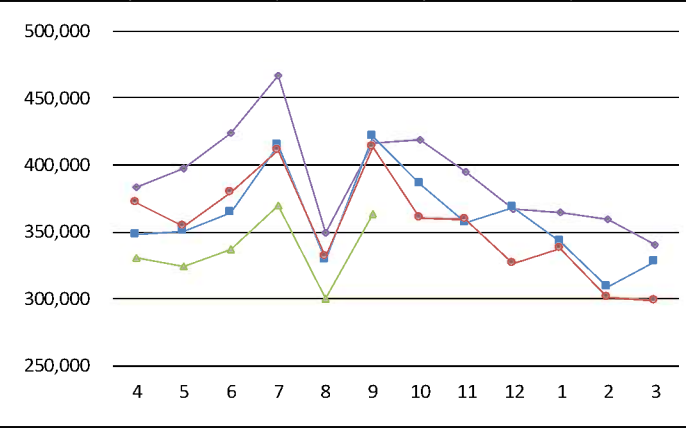
報告事項（１） 平成２８年度上半期の運行実績について

くるりんばす月毎利用者数

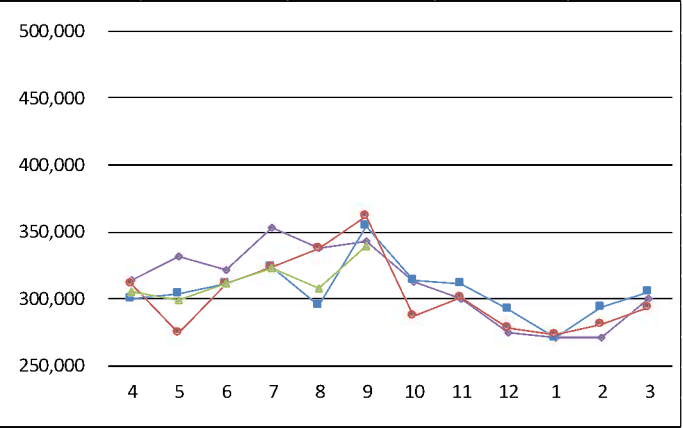


■くるりんばす月毎運行収入

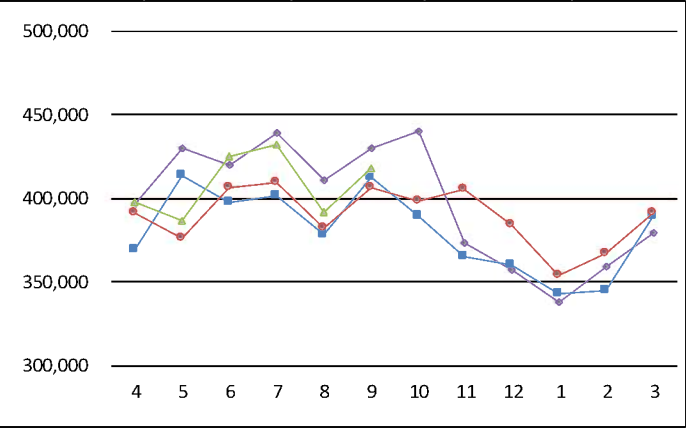
東コース



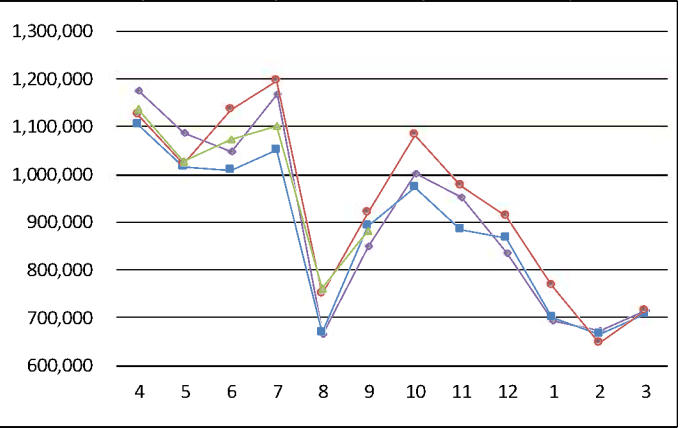
西コース



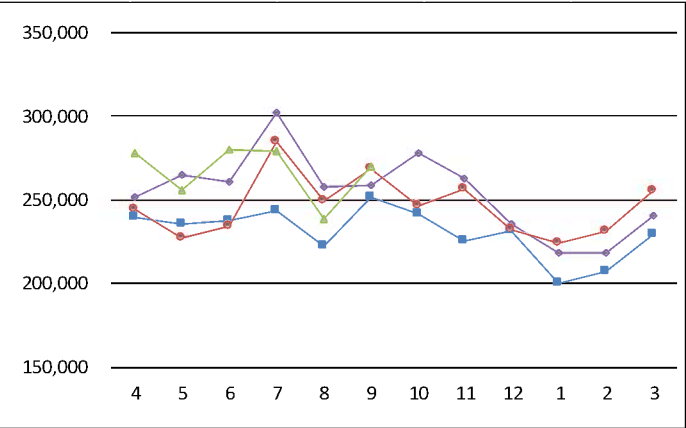
南コース



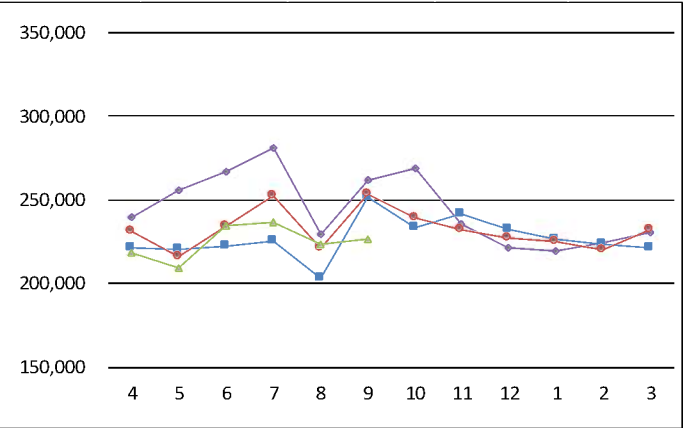
中央線



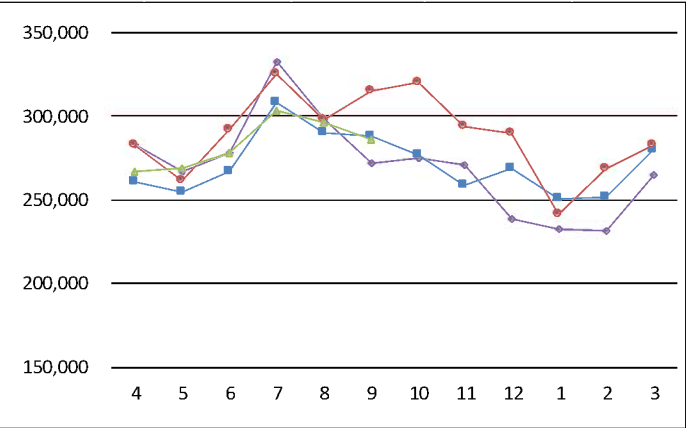
中コース



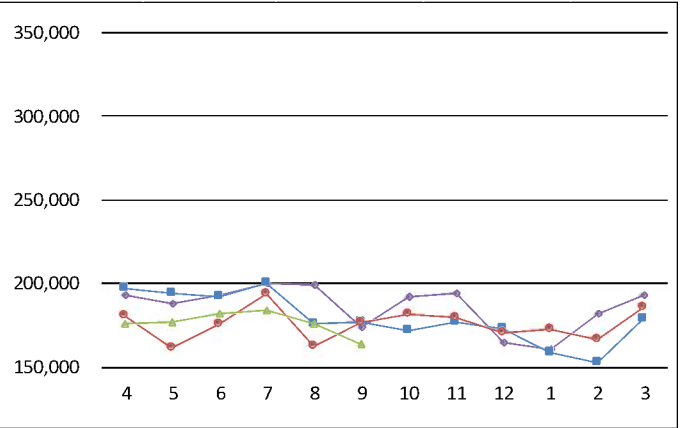
東南コース



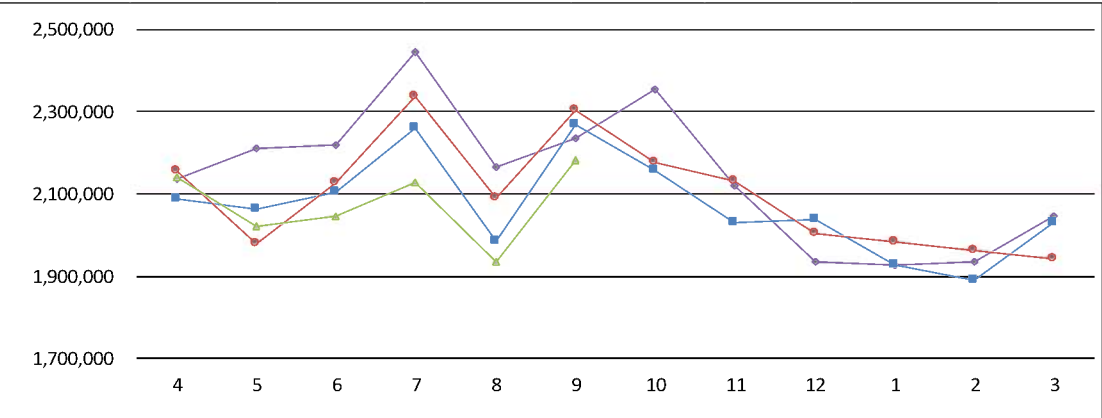
南西コース



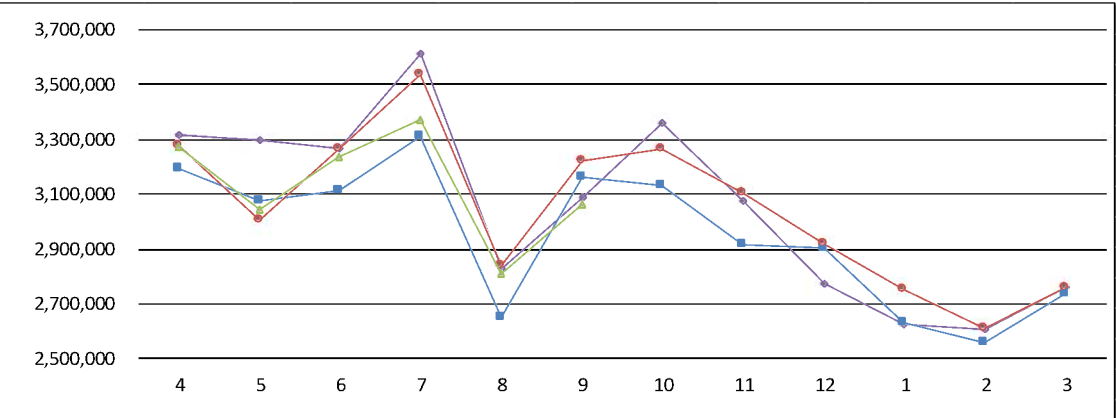
北コース



7コース



8コース



円/月	
紫	25年度
青	26年度
赤	27年度
緑	28年度

報告事項（２） 交通結節点における待合環境の整備について

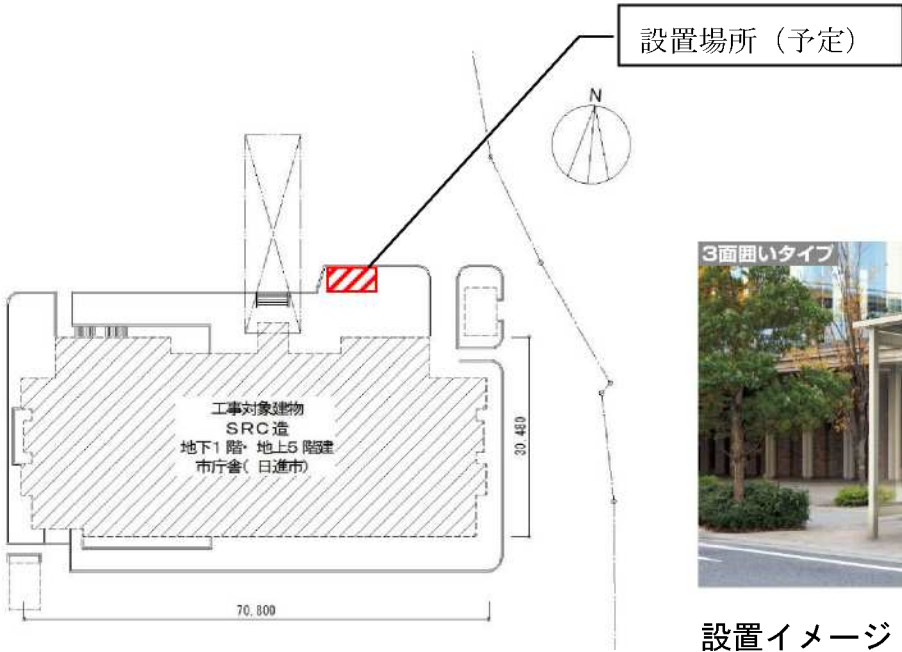
待合環境の整備については、日進市地域公共交通網形成計画において、３．公共交通利用推進計画（２）利用促進を誘導する施策 ⑥ 乗継・待合・乗継環境の改善 において、行政・交通事業者が実施することとしています。

事業名		内容	実施予定年度										実施主体		
			H27		H28		H29		H30		H31			H32	
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期		上期	下期
公共交通軸	鉄道	サービス水準の維持													交通事業者
	幹線バス見直し	広域幹線バス													交通事業者
		地域幹線バス(くるりんばす中央線の民間路線化)													交通事業者
		地域幹線バス(南北線の新設)													交通事業者・行政
地域交流交通	くるりんばす見直し	くるりんばす再編													行政・交通事業者・市民
公共交通利用推進計画	(1) 利用者が利用しやすいバスの運行サービスの提供	①公共交通利用に係る積極的な情報提供													行政・交通事業者
		②わかりやすいバス系統表示													行政・交通事業者
		③わかりやすい運行情報・乗継情報の提供													行政・交通事業者
	(2) 利用促進を誘導する施策	①くるりんばすの料金体系の見直し													行政・交通事業者
		②定期券・回数券の導入													行政・交通事業者
		③免許返納推進環境の整備と制度の拡充													行政
		④モビリティ・マネジメントの実施													行政
		⑤市民サポーター制度の導入の検討													行政・市民
		⑥乗継・待合・乗降環境の改善													行政・交通事業者
		⑦駅前駐輪場の整備													行政
	(3) 地域づくりと一体となったバスへの愛着(マイバス意識)を高める方策	①交通マップの作成・配布													行政・協議会
		②企業と一体となった取組													行政・関係団体
③地域住民による各種活動の実施														市民	
推進体制及び評価	地域公共交通再編実施計画の策定	日進市公共交通会議で検討													協議会
	PDCAサイクルによる実施	日進市公共交通会議で検討													協議会

資料：日進市地域公共交通網形成計画

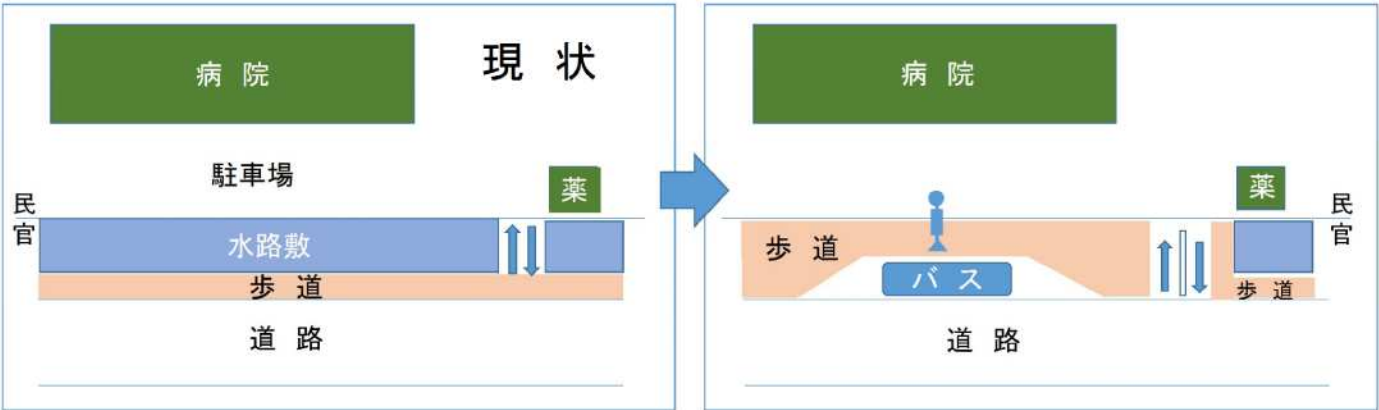
この度、本計画を推進するため、次の事業について補正予算において対応することが認められました。

（１）公共交通案内所整備工事（市役所バス停前）

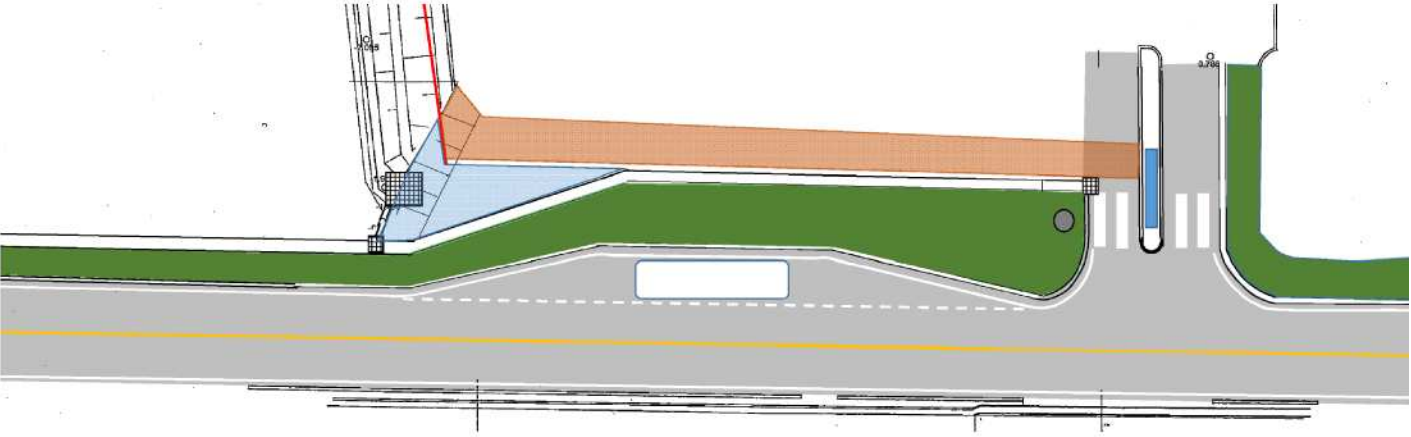


設置イメージ（現物とは異なります。）

（２）おりど病院前バス停改良工事



◎計画イメージ図



◎現場写真



報告事項（３） 平成２７年度歳入歳出決算について

平成２７年度日進市地域公共交通会議 事業報告

１ 日進市地域公共交通再編実施計画策定に関する基礎調査事業

地域公共交通再編調査事業の補助対象事業として、「日進市地域公共交通再編実施計画」を策定するために必要な調査を実施した。

委託業務履行期間 平成２７年５月２９日から平成２８年３月３１日まで
契約相手方 株式会社国際開発コンサルタント 名古屋支店

２ 協議会等の開催

- 地域公共交通会議 全６回開催（主な議題）
第１回会議 平成２７年４月２４日
（地域公共交通網形成計画（案）パブリックコメント結果について）
第２回会議 平成２７年８月１０日
（地域公共交通再編実施計画の策定に関する基礎調査について）
第３回会議 平成２７年１０月２８日
（地域公共交通再編案について）
第４回会議 平成２８年１月８日
（地域公共交通再編案の修正について）
第５回会議 平成２８年２月１９日
（地域公共交通再編実施計画の策定に関する基礎調査について）
第６回会議 平成２８年３月３１日
（くるりんばすの料金体系の改定について）
（地域公共交通計画調査事業実施事業者選定委員会 １回開催）

地域公共交通会議生活交通部会 １回開催
平成２７年７月２１日（火）
（くるりんばす再編案について）

平成２７年度日進市地域公共交通会議 歳入歳出決算

平成２８年１０月２４日提出

日進市地域公共交通会議 会長 松本 幸正

第１表 歳入歳出決算

歳入					(単位：円)
款	項	予算額	決算額	増減額	説明
１ 負担金	１ 負担金	3,207,960	3,207,960	0	日進市負担金
２ 補助金	１ 国庫補助金	1,000	1,749,000	1,748,000	地域公共交通確保維持改善事業費補助金
３ 繰越金	１ 繰越金	0	0	0	
４ 諸収入	１ 諸収入	1,000	0	△1,000	その他収入無し
合計		3,209,960	4,956,960	1,747,000	

歳出					(単位：円)
款	項	予算額	決算額	増減額	説明
１ 事務費	１ 会議費	713,160	588,026	△125,134	報償費、食料費、印紙、振込手数料
２ 事業費	１ 事業費	2,494,800	2,494,800	0	調査事業委託料
	２ 精算金	1,000	1,874,134	1,873,134	市への精算金
３ 予備費	１ 予備費	1,000	0	△1,000	その他支出なし
合計		3,209,960	4,956,960	1,747,000	

収入支出に伴う関係書類及び関係帳簿等を審査した結果、いずれも正確かつ適正であることを認めます。

監査委員 大竹弘真

監査委員 幸村朋子

議題（１） 年末特別運行について

（１）これまでの実施結果について

■これまでの経緯

平成２４年度から、「年末もくるりんばすを利用したい」という利用者の声を受け、年末年始運行を実施している自治体での実施結果を参考に、年末のうち需要が見込まれる１２月２９日、３０日の２日間に、２４年度からの３か年、試行運行を実施した。２７年度からは、２９年度からの再編を見据え、これまでに定着した利用者の利便性確保のため特別運行を継続することとした。

■実施内容

運行日：１２月２９日、３０日の２日間
ダイヤ：中央線を除く７コースの３・４便、６～９便を休日ダイヤで運行
周知：広報にしん１２月号へ掲載
市内全バス停に案内を掲示（１２月中旬から）
市ホームページにて運行情報を掲載（１２月上旬から）

■実施結果からみえたもの

平成 27 年度は、コース別に見ると利用が少ないコースもあるが、7 コース合計としては過去最高の利用者数であり、12 月の休日比で 80%の利用があった。
これは、継続的な実施により「年末も運行している」という情報が定着してきたことから、利用が増加したものと考えられる。

（２）平成２８年度の実施内容

■平成２８年度

昨年度同様、２日間の特別運行を実施する。

運行日：平成２８年１２月２９日（木曜日）、３０日（金曜日）の２日間
ダイヤ：中央線を除く７コースの３・４便、６～９便を休日ダイヤで運行

（３）平成２９年度以降の実施方針について

■平成２９年度以降

現在検討中のくるりんばす再編事業の中で、運行日を「１２月３１日～１月３日は運休」とした。

■実施結果

コース	年度	29 日利用者（休日比）		30 日利用者（休日比）		2 日間合計
東	H27	52 人	67. 8%	54 人	70. 4%	106 人
	H26	43 人	52. 6%	40 人	48. 9%	83 人
	H25	45 人	55. 9%	32 人	39. 8%	77 人
	H24	44 人	48. 0%	32 人	34. 9%	76 人
西	H27	69 人	84. 2%	63 人	76. 9%	132 人
	H26	68 人	68. 5%	68 人	68. 5%	136 人
	H25	87 人	107. 6%	55 人	68. 0%	142 人
	H24	70 人	77. 5%	31 人	34. 3%	101 人
南	H27	117 人	101. 4%	69 人	59. 8%	186 人
	H26	72 人	59. 2%	66 人	54. 3%	138 人
	H25	86 人	82. 3%	62 人	59. 4%	148 人
	H24	71 人	66. 4%	37 人	34. 6%	108 人
北	H27	61 人	101. 7%	43 人	71. 7%	104 人
	H26	43 人	57. 9%	62 人	83. 5%	105 人
	H25	54 人	81. 7%	33 人	49. 9%	87 人
	H24	48 人	66. 4%	29 人	40. 1%	77 人
中	H27	71 人	80. 1%	78 人	88. 0%	149 人
	H26	51 人	52. 4%	73 人	75. 0%	124 人
	H25	70 人	76. 4%	64 人	69. 8%	134 人
	H24	68 人	81. 5%	44 人	52. 7%	112 人
東南	H27	41 人	58. 6%	75 人	107. 1%	116 人
	H26	49 人	64. 1%	53 人	69. 3%	102 人
	H25	42 人	58. 9%	47 人	65. 9%	89 人
	H24	49 人	79. 2%	16 人	25. 9%	65 人
南西	H27	66 人	64. 2%	94 人	91. 4%	160 人
	H26	57 人	60. 2%	76 人	80. 3%	133 人
	H25	56 人	70. 2%	69 人	86. 5%	125 人
	H24	65 人	85. 4%	59 人	77. 5%	124 人
合計	H27	477 人	80. 1%	476 人	80. 0%	953 人
	H26	383 人	59. 4%	438 人	67. 9%	821 人
	H25	440 人	76. 6%	362 人	63. 0%	802 人
	H24	415 人	71. 2%	248 人	42. 6%	663 人

2) 地域公共交通再編実施計画策定の基本方針

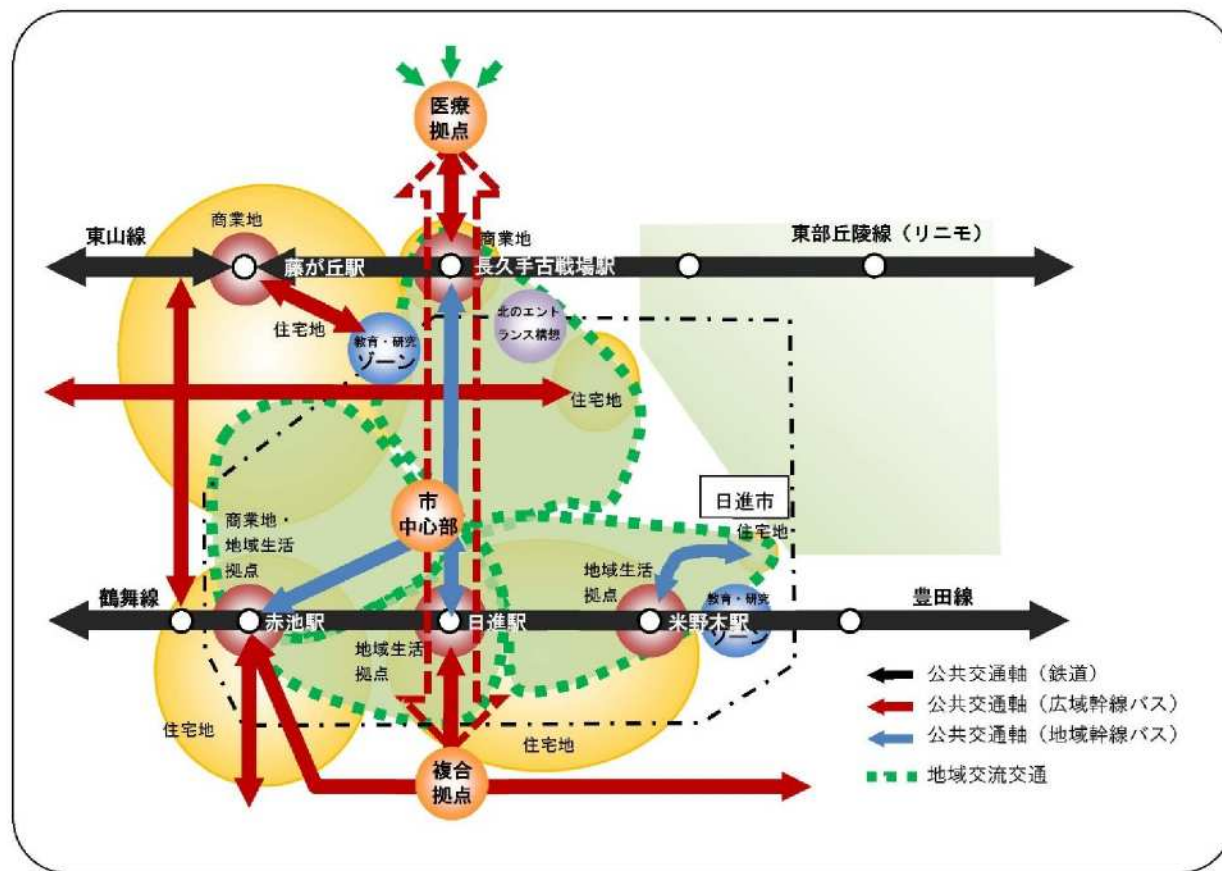
(1) 公共交通ネットワーク全体の見直し方針

- ・鉄道及び路線バスが一体となり公共交通軸を形成
- ・市中心部と赤池駅、日進駅、長久手古戦場駅等を結ぶ幹線バスを本市の南北軸として位置づけ
- ・市中心部及び鉄道駅（赤池駅、日進駅、米野木駅、長久手古戦場駅）を乗継拠点として位置づけ
- ・乗継・符合・乗降環境の改善、わかりやすい情報提供の実施
- ・まちづくり計画と連携する中で、段階的な見直しを実施
- ・くるりんばすは、地域の生活拠点（商業施設、医療施設、公共施設等）、公共交通軸及び乗継拠点へのアクセス機能を有する地域交流交通として位置づけ

※路線の設定にあたっては、次の点に留意し、運行のサービス水準を設定

- ・市の財政状況を鑑み、事業の継続が可能な範囲とします。
- ・各地域から地域の生活拠点、公共交通軸及び乗継拠点（市中心部、鉄道駅）へは、乗継なし、もしくは1回の乗継でアクセス可能とします。
- ・各路線のダイヤは、主要目的施設の利用時間帯を踏まえ設定します。

図5-1 公共交通体系のイメージ（再掲）



(2) くるりんばす見直しの基本方針

<地域幹線バス（日進中央線、くるりんばす循環線）>

- ・交通事業者が運行する路線バスと一体となり、主要施設をアクセスする幹線バス機能を確保
- ・日進中央線は、朝夕の通勤、通学需要に対応するとともに、鉄道や民間路線バスとの乗り継ぎ、商業施設、医療施設、大学等の開閉時間に配慮したダイヤ設定
- ・地域幹線バスは、通勤・通学需要にも対応するため、朝夕のピーク時間帯の運行や、利用者に分かりやすいパターンダイヤを目標
 - ✓ 日進中央線は赤池駅～市役所周辺～長久手古戦場駅の鉄道駅相互を連絡するルートを維持しつつ、利用促進を図るため住宅団地を経由するルートへ見直し
 - ✓ 多様な都市機能が集積・立地する日進駅～市役所周辺を連絡する循環線を新設
 - ✓ 日進中央線は1時間に片道1本程度の運行、循環線は1時間2本程度の運行を目標

<地域交流交通（くるりんばす：赤池線、米野木線、三本木線、梅森線、五色園線、岩崎線）>

- ・現在の7コースをベースに、利用実態や生活圏域を考慮したサービス圏域を設定
- ・民間路線バスや他のコースとの路線重複を極力回避し、所要時間の短縮による利便性の向上
- ・地域の最寄り鉄道駅または市役所を発着地とし、市役所へのアクセスを確保
- ・日進駅と市役所では、2コース以上の乗り入れを行い、隣接地域等市内移動の利便性を確保
- ・1便おきの双方向運行を廃止し、全便一方向運行による分かりやすいルート
- ・鉄道、民間路線バス及び地域幹線バス（日進中央線、循環線）との乗り継ぎに配慮したダイヤ設定
- ・地域交流交通は、現状以上の利便性の確保を目標
 - ✓ 東部エリアは米野木駅を中心に生活拠点施設を巡回するコース
 - ✓ 南部エリアは日進駅および赤池駅を中心に生活拠点施設を巡回するコース
 - ✓ 西部エリアは平針駅を中心に生活拠点施設を巡回するコース
 - ✓ 北部エリアは長久手古戦場駅を中心に生活拠点施設を巡回するコース

(3) 再編案

本計画において位置づける再編に関する事業内容を以下にまとめます。

表 5-3 再編概要

項目	事業内容
路線バスにおける路線の新設 (日進中央線)	旧くるりんばす中央線を民営化する。
日進市くるりんばすにおける路線 の再編	日進市地域公共交通網形成計画に基づき、市民ニーズに対応した路線に再編する。
循環線	日進市役所及びその周辺施設と日進駅を循環する路線を新設する。
赤池線	旧南コース及び南西コースの運行エリアに対応する路線を新設する。
米野木線	旧南コース及び東南コースの運行エリアに対応する路線を新設する。
三本木線	旧東コース及び東南コースの運行エリアに対応する路線を新設する。
梅森線	旧西コース及び南コース、南西コースの運行エリアに対応する路線を新設する。
五色園線	旧北コース及び東コースの運行エリアに対応する路線を新設する。
岩崎線	旧中コースの運行エリアに対応する路線を新設する。

図 5-2-1 旧路線網図

再編前の路線網
(～平成 29 年 3 月 31 日)

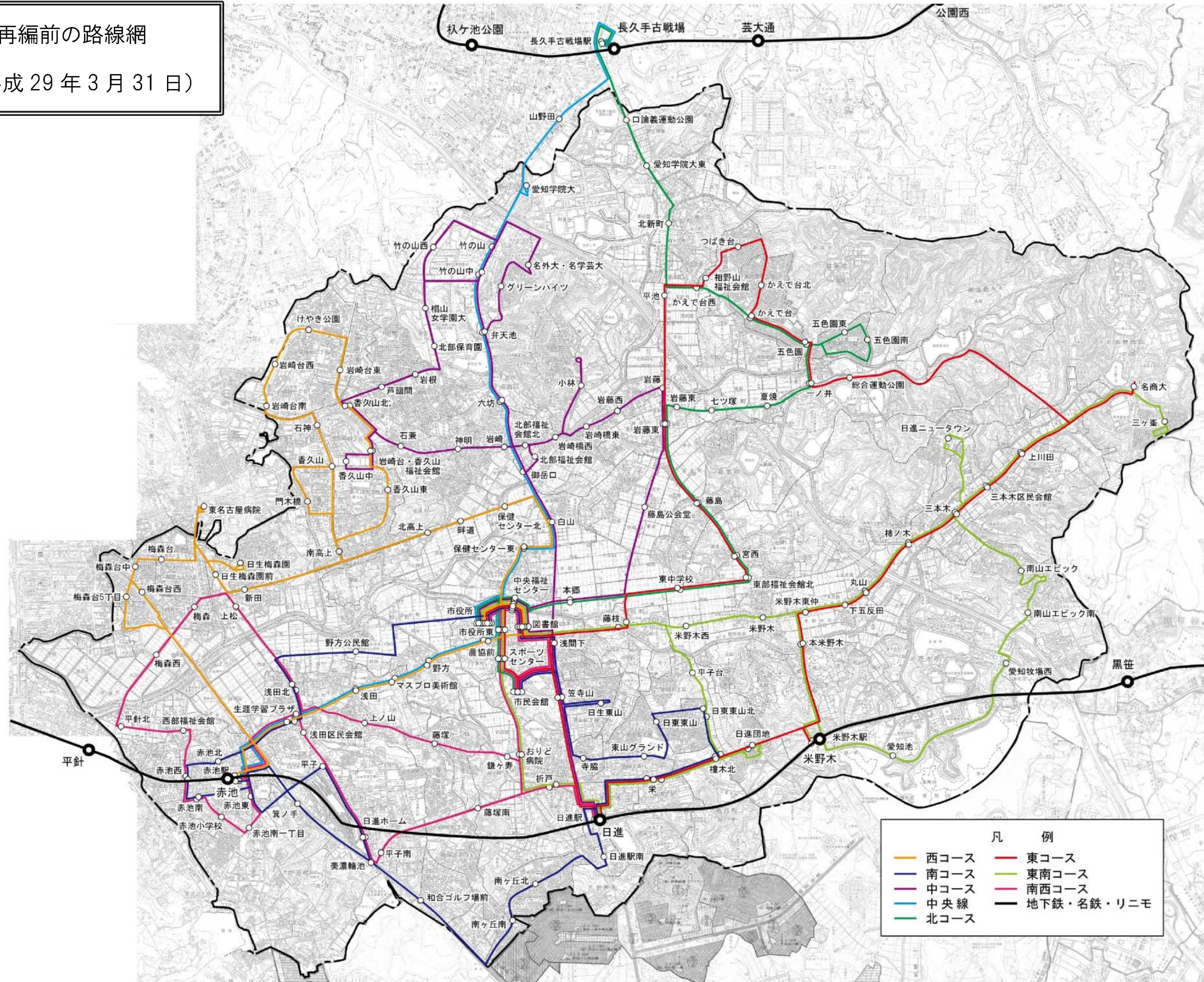


図 5-2-2 再編路線図 (案)

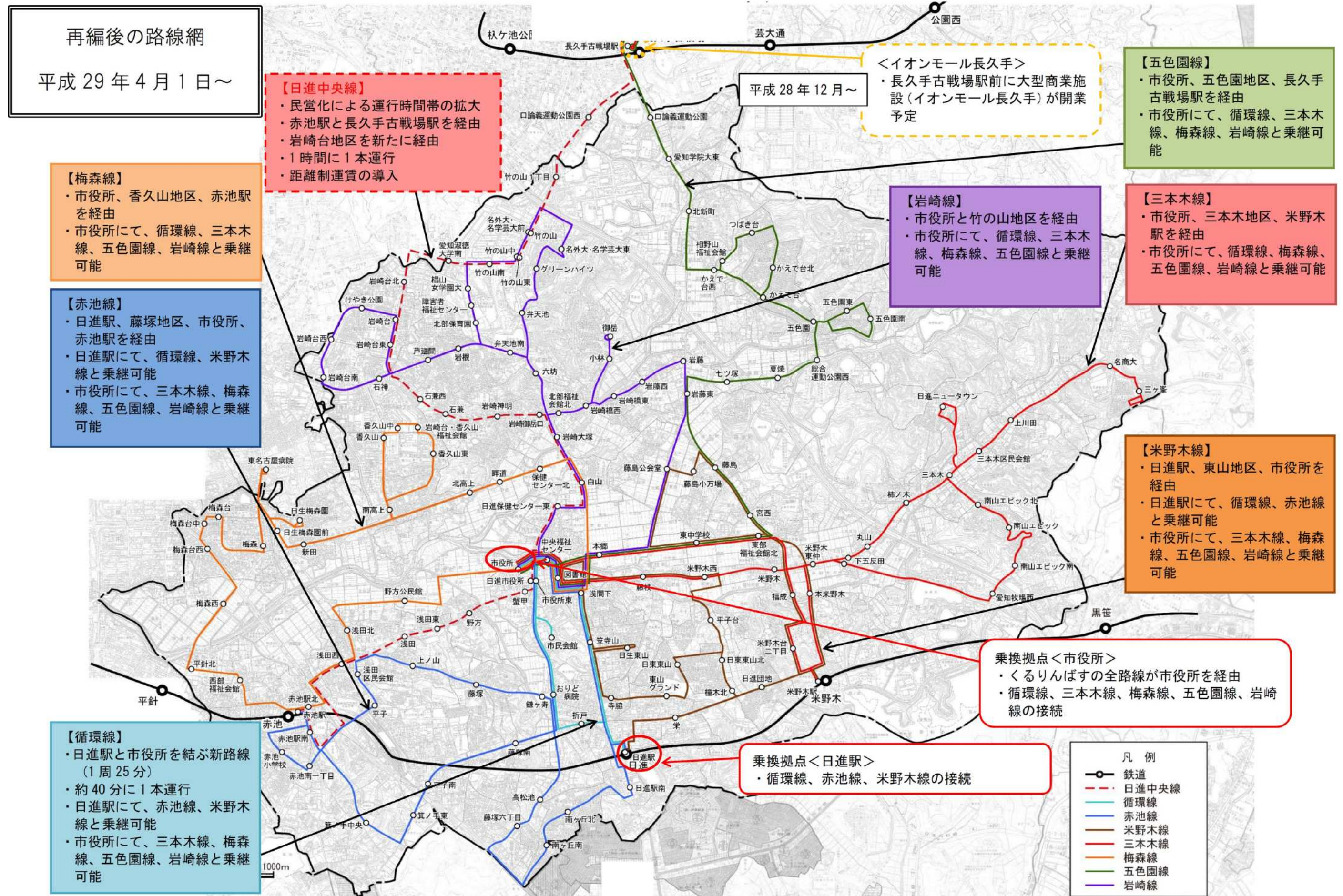


表 6-2 各事業の事業効果と目標指標（案）

項 目		事業の効果及び目標指標
公費負担額		再編前 146,630 千円 → 再編後 148,705 千円 公費負担額はほぼ横ばいであるが、再編により効率化が図られ、民営化に伴う増便によるサービス水準の向上が図られる。
収支率		再編前 19.9%→再編後 26.2% 民営化及び料金改定の影響により、大幅な改善を見込みます。
路線別の事業効果と目標指標	路線バスにおける路線の新設（日進中央線）	現行くるりんばす中央線の民営化に伴う路線の新設により、本計画の目標年次（平成 32 年度）における年間利用者数は、79 千人以上（平成 26 年度：71 千人）への増加を見込みます。
	日進市くるりんばすにおける路線の再編	くるりんばすの路線再編に伴い、本計画の目標年次（平成 32 年度）における年間利用者数は、570 千人（平成 26 年度：433 千人）への増加を見込みます。
	循環線	循環線の新設に伴い、本計画の目標年次（平成 32 年度）における年間利用者数は、69 千人を見込みます。
	赤池線	赤池線の新設に伴い、本計画の目標年次（平成 32 年度）における年間利用者数は、124 千人（平成 26 年度：118 千人）への増加を見込みます。
	米野木線	米野木線の新設に伴い、本計画の目標年次（平成 32 年度）における年間利用者数は、73 千人（平成 26 年度：62 千人）への増加を見込みます。
	三本木線	三本木線の新設に伴い、本計画の目標年次（平成 32 年度）における年間利用者数は、81 千人（平成 26 年度：65 千人）への増加を見込みます。
	梅森線	梅森線の新設に伴い、本計画の目標年次（平成 32 年度）における年間利用者数は、100 千人（平成 26 年度：51 千人）への増加を見込みます。
	五色園線	五色園線の新設に伴い、本計画の目標年次（平成 32 年度）における年間利用者数は、65 千人（平成 26 年度：53 千人）への増加を見込みます。
	岩崎線	岩崎線の新設に伴い、本計画の目標年次（平成 32 年度）における年間利用者数は、58 千人（平成 26 年度：47 千人）への増加を見込みます。
	日頃バスを利用する人の割合	本計画に基づく事業により、本計画の目標年次（平成 32 年度）における日頃バスを利用する人（年に数日以上の利用がある人）の割合は、幹線バス 39.5%以上（平成 26 年度：39.0%）、地域交流交通 34.0%以上（平成 26 年度：32.8%）を見込みます。
事業全体の効果と目標指標	公共交通の利用者数	本計画に基づく事業により、本計画の目標年次（平成 32 年度）における公共交通の利用者数は 10,900 千人以上（平成 25 年度：10,079 千人）を見込みます。
	公共交通利用の不満割合	本計画に基づく事業により、本計画の目標年次（平成 32 年度）における公共交通利用の不満割合は、幹線バス 35.0%以下（平成 26 年度：39.1%）、地域交流交通 40.0%以下（平成 26 年度：45.1%）を見込みます。

事業名		内容	実施予定年度												実施主体
			H27		H28		H29		H30		H31		H32		
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	
1. 広域幹線の維持	鉄道	サービス水準の維持													交通事業者
	広域幹線バス	広域幹線バスの維持													交通事業者
2. 地域公共交通再編実施計画	幹線バス見直し	地域幹線バス(くるりんばす中央線の民間路線化)													交通事業者
		地域幹線バス(南北線の新設)													交通事業者・行政
	くるりんばす見直し	くるりんばす再編													行政・交通事業者・市民
3. 公共交通利用推進計画	(1) 利用者が利用しやすいバスの運行サービスの提供	①公共交通利用に係る積極的な情報提供													行政・交通事業者
		②わかりやすいバス系統表示													行政・交通事業者
		③わかりやすい運行情報・乗継情報の提供													行政・交通事業者
	(2) 利用促進を誘導する施策	①くるりんばすの料金体系の見直し													行政・交通事業者
		②定期券・回数券の導入													行政・交通事業者
		③免許返納推進環境の整備と制度の拡充													行政
		④モビリティ・マネジメントの実施													行政
		⑤市民サポーター制度の導入の検討													行政・市民
		⑥乗継・待合・乗降環境の改善													行政・交通事業者
		⑦駅前駐輪場の整備													行政
	(3) 地域づくりと一体となったバスへの愛着(マイバス意識)を高める方策	①交通マップの作成・配布													行政・協議会
		②企業と一体となった取組													行政・関係団体
		③地域住民による各種活動の実施													市民
4. 推進体制及び評価	PDCAサイクルによる実施	日進市公共交通会議で検討												協議会	

議題（３）　くるりんばす再編に伴う道路運送法上の協議について

（１）協議の理由

平成 28 年 2 月に実施した本協議会において「日進市地域公共交通再編実施計画の策定に関する基礎調査」調査報告書が承認され、市長に提出されたことを受け、市では、バス路線の再編事業の実施に向けた準備を進めてきたところです。

今回、この再編の内容が、現在運行している路線の運行計画の変更に該当するため、道路運送法上の特例を受けるにあたり、地域公共交通会議において協議、承認をいただくものです。

（２）協議項目

①変更理由：

日進市地域公共交通網形成計画における、くるりんばす再編を実施するにあたり策定する「日進市地域公共交通再編実施計画」において、路線が新設廃止、及び停留所位置が新設、廃止、移設されることに伴うもの

②路線名：

市内巡回バス

新設路線：

赤池線、米野木線、三本木線、梅森線、五色園線、岩崎線、循環線

廃止路線：

東コース、西コース、南コース、北コース、中コース、南西コース、東南コース、中央線

③該当停留所：

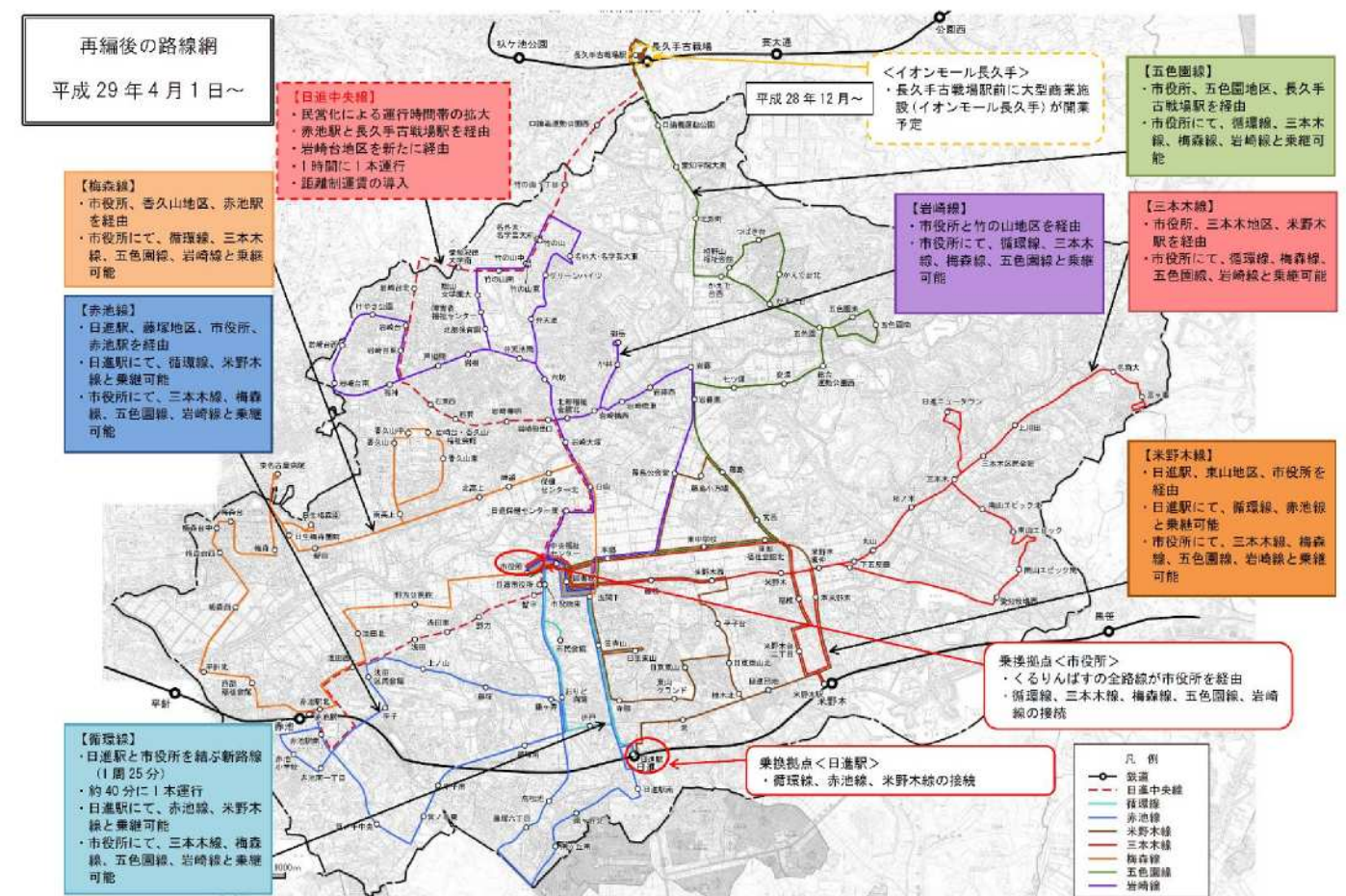
新設： 15 箇所、廃止： 82 箇所、移設： 9 箇所、名称変更： 4 箇所

※詳細は別添資料のとおり

④再編実施予定年月日：平成 29 年 4 月 1 日

⑤その他：

- ・新設、移設停留所のうち、縁石、ガードパイプ、植栽帯の除去が必要なものについては、各道路管理者との協議により承認工事を実施予定（実施時期：29 年 3 月中旬までに完了）
- ・広報にしん 2 月号にて周知を予定。
- ・あわせて、路線図・時刻表を全戸配布（広報にしん 2 月号折込の予定）



関係機関等事前協議実施日

隣地地権者（新設・移設停留所）

平成 28 年 3 月 3 日～10 日

所轄警察（愛知署交通課）

平成 28 年 2 月 18 日、10 月 6 日

道路管理者（県尾張建設事務所）

平成 28 年 10 月 4 日

道路管理者（市土木管理課）

平成 28 年 10 月 11 日